

令和3年度牧之原市当初予算の概要について

1 当初予算の総額

(単位：千円、%)

会 計 名	令 和 3 年 度 予 算 額	令 和 2 年 度 予 算 額	前年度比較			
			増減額	伸率		
一 般 会 計	19,280,000	21,370,000	△2,090,000	△9.8		
特 別 会 計	9,990,236	9,935,883	54,353	0.5		
国民健康保険 特 別 会 計	5,022,018	5,025,771	△3,753	△0.1		
後期高齢者医療 特 別 会 計	517,780	527,242	△9,462	△1.8		
介護保険特別会計	4,437,840	4,368,346	69,494	1.6		
土地取得特別会計	143	148	△5	△3.4		
農業集落排水事業 特 別 会 計	12,455	14,376	△1,921	△13.4		
小 計	29,270,236	31,305,883	△2,035,647	△6.5		
水道事業 会 計	収 益 的	収 入	1,034,779	1,049,359	△14,580	△1.4
		支 出	1,005,980	1,006,840	△860	△0.1
	資 本 的	収 入	137,096	139,377	△2,281	△1.6
		支 出	438,547	420,656	17,891	4.3
合 計	30,714,763	32,733,379	△2,018,616	△6.2		

2 当初予算の概要

(1) 総括

【一般会計】

- ・今年度の予算は、前年度比20億9,000万円、率にして9.8%の減の192億8,000万円であるが7年連続で190億円を超える予算となった。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業などの保健に係る予算の充実、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体化による健康づくりの推進、また、将来世代への負担となる市債は5年ぶり20億円を下回り、健全で持続可能なまちづくりとなる予算である。
- ・第2次総合計画後期基本計画の3年目となるため、引き続き、戦略プロジェクトに基づく効果的な官民連携により、交流定住人口の増加や住みやすい地域づくりに取り組む。
- ・具体的には、市全体に効果が及ぶ新たな拠点、賑わいの場の創出に向けた高台開発事業（土地区画整理準備組合への補助金）、春に完成予定のウェイブプールを含めた沿岸部活性化事業やサーフィン競技を核としたホストタウン推進事業、新婚世帯や子育て世帯に移住・定住を促す施策の継続など賑わいを創出する事業に予算付けをした。

- ・また、3か年計画で整備する多目的体育館やまきのはら産業・地域活性化センターの自立に向けた取組、デジタル化による業務効率化にも予算配分をした。
- ・さらに、保育園民営化による教育・保育の質・量の向上、保育園・認定こども園、放課後児童クラブの待機児童なし、妊産婦通院支援、こども医療費助成なども引き続き予算化し、日本一女性にやさしいまちを目指した。
- ・公共施設マネジメント基本計画に基づく市営住宅（波津西住宅の一部（設計））、相良公民館、海浜体育館（設計）、消防団詰所（遠渡・堀野新田（設計））の解体費を計上した。
- ・安全・安心のまちづくりとしては、防災・減災、国土強靱化による細江地区浸水対策や準用河川の浚渫工事、農業用ため池の耐震化、津波・高潮防災ステーションの改修、地頭方漁港海岸防潮堤整備などに予算措置をした。
- ・道路橋りょうの整備についても、道路ストック補修支援事業や道路メンテナンス事業、空港隣接事業にも継続予算を確保した。
- ・そのほか、森林環境譲与税を財源とした勝間田城跡周辺や榛原公園の森林整備事業、LINE等を活用した情報発信の強化にも取り組む。
- ・なお、国の15か月予算の考え方に歩調をあわせ、新型コロナウイルス感染症対策である地域経済の活性化を図る商工業支援事業などは令和2年度補正予算に編成し、令和3年度へ2億円弱の繰越しをすることで切れ目のない支援対策を講じた。国の補正予算（安全・安心の確保）により前倒しで予算付けされた農業用ため池の耐震診断や相良地区放射線防護施設の整備等についても7億7,000万円程の繰越しをしている。

【特別会計】

- ・国民健康保険特別会計は、医療費及び保険税の県推計に基づく予算である。
- ・後期高齢者医療特別会計は、保険料の賦課見込等に基づく予算である。
- ・介護保険特別会計は、保険給付費及び地域支援事業費の見込等に基づく予算である。
- ・土地取得特別会計は、用地取得の予定がないため、基金管理等の予算である。
- ・農業集落排水事業特別会計は、笠名地区の農業集落排水施設最適整備構想策定完了により減額になっている。

【公営企業会計】

- ・水道事業会計は、安全で良質な水の安定供給を目指し、老朽化した水道管の更新を図る予算である。

（2）歳入（一般会計）

- ・市税は、前年度を大幅に下回る6,703,029千円（前年度比10.9%減）の計上をした。新型コロナウイルスの感染拡大の影響から市民税は個人、法人ともに3億円弱の大幅な減額となり、前年度比19.9%の減少とした。固定資産税についても、新型コロナウイルス感染症による中小事業者等の事業用家屋及び償却資産の減免（コロナ減免）と評価替えにより292,431千円（前年度比6.9%減）の減収を見込んだ。
- ・地方特例交付金は、コロナ減免による固定資産税の減収補填措置の新設により234,000千円の増額、普通交付税は、市税の減収等から前年度比13.5%の増加の2,100,000千円とした。
- ・国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種事業などの計上により291,820千円（前年度比14.7%増）の増額となった。県支出金は、産地パワーアップ事業の完了や地域産業立地事業などにより921,765千円（前年度比38.4%減）の大幅な減額になった。
- ・寄附金は、ふるさと納税の申請が回復傾向なことやふるさと納税推進事業を委託することから170,500千円（前年度比94.4%増）の増額とした。
- ・市債については、ウェイブプール建設への地域総合整備資金貸付事業の完了や放射線防護施設整備事業などにより1,021,600千円（前年度比35.3%減）の減額となった。
- ・また、歳入不足を補うために、財政調整基金1,100,000千円の繰入金を計上した。

(3) 歳出（一般会計）

令和3年度に実施する事業を総合計画における6つの政策により整理した主要な事業は、以下のとおりである。（別冊、予算参考資料の「令和3年度 主要事業等」参照）

◎印は、第2次総合計画における戦略プロジェクトを示し、新型コロナウイルス関連については●印となっている。

1 【健康福祉】

<p>障害者基幹相談支援センター事業〈新規〉</p> <p>地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを2市2町（島田市、牧之原市、吉田町、川根本町）で設置し、障害者自立の相談支援体制の強化を図る。</p>	276万円
<p>養護老人ホーム相寿園管理運営事業〈新規〉</p> <p>身体的、精神的、環境的、または経済的な理由で、居宅において養護を受けることが困難なものを入所させ、養護することを目的に養護老人ホーム相寿園の管理運営を行う。</p>	1億222万円
<p>●介護施設等新型コロナウイルス感染症対策事業〈新規〉</p> <p>高齢者福祉施設において新型コロナウイルス感染症が発生した場合の消毒・清掃費用の補助を行う。</p>	100万円
<p>高齢者の保健事業と介護予防事業の一体化〈新規〉</p> <p>保健師が中心となり、地域の健康課題等の把握や事業自体の企画・調整・分析等を行い、栄養士・歯科衛生士等専門職が高齢者のいる世帯へより積極的な働きかけを行い、高齢者医療と介護予防を一体的に行う。</p>	50万円
<p>●子育て関連申請手続き等感染症対策事業〈新規〉</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、来庁せずに電子申請が出来る手続きを増やすためシステムを導入する。</p>	44万円
<p>こども医療費助成事業</p> <p>高校生以下の子どもに係る医療費の自己負担分を全額助成することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な育成を図る。</p>	1億8,954万円
<p>◎公立保育園民営化事業</p> <p>「質の向上のための取組」と「民営化、適正配置」の取組等を一体的に推進することにより、市全体の教育保育の質及び量の向上を図る。</p>	257万円
<p>●保育園等新型コロナウイルス感染症対策事業〈新規〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの洋式化、照明や手洗水栓の自動化改修工事、衛生資材の配備を行う。</p>	1,766万円

地域医療振興事業 牧之原市内に診療所等を開設する医師に対し、開設費用の一部を助成することで、医療サービスの充実を図る。	5,000万円
●新型コロナウイルスワクチン接種事業〈新規〉 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための市民啓発を行い、市民に対するワクチン接種体制を整備し集団及び個別接種を実施する。	3億1,767万円
●感染拡大防止検査費用助成事業〈新規〉 高齢者施設等への新規入所者が自費により受検した新型コロナウイルス検査費用や、施設等の利用者及び職員に陽性者が確認された場合に受検した行政検査の自己負担額の一部等を助成する。	980万円
妊産婦通院等支援事業 榛原総合病院の産科休診に伴う対応として、妊産婦の通院等に要する費用の一部を助成する。	630万円

2【教育文化】

◎学校再編計画策定事業 令和3年度中に学校再編計画を策定するため、市民意見交換会の開催、基礎調査(可能性調査)の業務委託を実施する。	783万円
英語力向上サポート事業 外国人英語指導助手を配置し、語学力の向上により、国際理解教育の推進を図る。併せてイングリッシュキャンプを実施し、英語に親しみながら外国人とのコミュニケーションの向上を図る。	2,026万円
◎ICT活用推進事業 一人一台端末を活用し、個別最適化された授業を展開するとともに、ICT教育の充実に伴い、地域人材を講師として招聘する。	128万円
学校施設改修事業(川崎小学校) 学校の教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎の屋上防水、外壁クラック補修等を実施する。	8,310万円
偉人マンガ製作事業〈新規〉 郷土の偉人である田沼意次侯を題材としたマンガを製作する。配布先は、市内公共施設や小学生の学習教材として活用する。	300万円
図書交流館管理運営事業〈新規〉 図書館基本計画に基づき令和2年度に整備した図書交流館を開館し、生涯学習の拠点とする。	1,575万円
勝間田城跡周辺森林整備事業 森林環境譲与税を活用し、勝間田城跡周辺の森林環境を適切に管理することにより、史跡見学者の安全を確保する。	532万円

<p>宮下遺跡発掘調査事業〈新規〉</p> <p>空港隣接地域賑わい創生事業費補助金を活用し、市道並木外之久保線改良工事に伴う宮下遺跡発掘調査を実施する。</p>	3,000万円
<p>◎多目的体育館整備事業〈新規〉</p> <p>牧之原市スポーツ推進計画に基づき、スポーツを「する」「みる」「ささえる」を担い、スポーツに限らず多目的に利用できる機能とともに、原子力災害時には放射線防護機能を有する施設としての体育館を整備する。</p>	1,500万円

3【産業経済】

<p>◎静波海岸周辺地域まちづくり構想策定事業〈新規〉</p> <p>ウェイブプールの整備を契機として、民間企業の進出意欲が高まる静波海岸周辺エリアの地域づくりの方針の整理、関連する公共事業との調整などを行う。</p>	50万円
<p>経営継承・発展等支援事業〈新規〉</p> <p>将来にわたって市内の農地利用を担う経営体を確保するため、担い手の経営を継承し発展する取組を支援する。</p>	150万円
<p>茶業振興事業</p> <p>市全体の茶産業振興のため、茶関係団体の育成支援、静岡牧之原茶のブランド力強化、消費及び販売拡大などを茶業関係者と連携を図り実施する。「茶+αの複合経営」の推進に向けた取組を行う。茶業経営の効率化を図るため、乗用型機械導入を支援する。</p>	1,187万円
<p>●茶業緊急支援事業〈新規〉</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、生産と販売に影響を受けている茶生産者等の経営力強化を支援する。</p>	1,000万円
<p>食肉センター再編整備事業〈新規〉</p> <p>県内の食肉センター2施設の老朽化等を踏まえ、食肉センター再編基本構想に基づく食肉センター再編整備事業への負担を行う。</p>	110万円
<p>水産業振興総合推進事業</p> <p>南駿河湾漁協で整備している製氷施設に対して利用者の割合に応じて助成し、漁業振興・漁業者支援を行う。</p>	1,010万円
<p>◎がんばる中小企業応援事業（牧之原市ビジネスサポートデスク）</p> <p>中小企業者、小規模企業者からの経営改善、事業承継、創業支援などの様々な相談を一括して受け付ける総合窓口を設置し、課題の解決に向けて支援する。</p>	180万円

<p>●経済変動対策貸付資金利子補給金事業</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上減少など業況悪化を来している中小企業等の資金繰りを支援する。</p>	1, 0 3 1 万円
<p>ふるさと納税推進事業</p> <p>財源確保と市内産業の活性化を目的に、ふるさと納税をした者に市内の特産品を贈る。</p>	1 億 7, 1 5 0 万円
<p>◎萩間地区工業用地造成事業</p> <p>萩間地区における工業用地の開発に必要な造成基本計画を策定し、県と連携しながら早期の事業着手を目指す。</p>	1 8 0 万円
<p>◎企業立地促進事業</p> <p>新規立地する企業に対して、土地取得及び雇用に係る初期投資に対して補助金を交付する。</p>	3, 7 8 0 万円
<p>御前崎港利活用推進事業</p> <p>御前崎市と連携しながら御前崎港の取扱貨物の増加を図り、新たな荷主企業の獲得を図るため、県中西部企業を中心とした積極的なポートセールスを展開するとともに、今年度開港 50 周年を迎える同港の更なる発展に向けた契機とすることを目的に、各種記念事業を実施する。</p>	5 3 7 万円
<p>御前崎港客船誘致事業</p> <p>御前崎港を活用した観光の振興と港湾の活性化を目的とし御前崎市と連携したクルーズ客船や海王丸・日本丸といった集客につながる帆船を誘致し、地域への経済波及効果の拡大を図る。</p>	6 0 0 万円
<p>◎まきのはら産業・地域活性化センター事業</p> <p>観光業をはじめ、多業種との連携による地域資源の観光商品化やイベントの開催等による誘客を図るとともに、地域産業の活性化のための支援を行う。</p>	4, 0 4 4 万円
<p>海水浴場開設及び海岸整備事業</p> <p>県内最大規模を誇る静波海水浴場と遠浅で白砂が美しいさがらサンビーチの年間の管理・運営を行い、海水浴客の誘客・マリンレジャーの振興や活用により牧之原市を広く P R し、観光業への経済波及効果の拡大、また情報・人的な交流を図る。</p>	4, 4 6 7 万円
<p>温泉会館大規模改修事業</p> <p>さがら子生温泉会館は、泉質の評判もよく老若男女と幅広い方々のふれあいの場となっているため、施設の修繕や L E D 化を進める。</p>	1, 3 2 7 万円
<p>物産センター管理運営事業</p> <p>市内で生産した新鮮な農林水産品及び加工品の展示・販売を行い、地域産業の振興を図る。当面の間、市の直営として収益改善に向けた運営を行いながら施設の今後の在り方を検討する。</p>	1 億 3, 1 3 9 万円

<p>●観光誘客推進事業〈新規〉</p> <p>RIDE ON MAKINOHARA 誘客キャンペーンの第3弾を実施する。静岡県・山梨県・長野県を対象に牧之原市内の宿泊施設で1泊すると3,000円の市内共通商品券がもらえるキャンペーンを実施する。</p>	1,430万円
<p>◎新拠点開発推進事業</p> <p>東名高速道路相良牧之原インターチェンジ北側地区の開発を推進するため、土地区画整理事業の施行に関する調査、牧之原市IC北側土地区画整理準備組合及び組合に対する助成等を実施する。</p>	2億771万円

4【生活基盤】

<p>◎道路ストック補修支援事業</p> <p>道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の舗装や法面などの痛みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。</p>	2億6,039万円
<p>◎道路メンテナンス事業</p> <p>道路の点検結果を踏まえ策定する長寿命化計画に基づき行う事業で、劣化、損傷が著しく進行している橋梁、トンネルの構造物を計画的かつ予防的に補修を行い、道路交通の安全性を確保する。</p>	1億2,637万円
<p>空港隣接事業</p> <p>市道八ツ枝毛ヶ谷線改良事業、市道坂部細江線改良事業、市道並木外之久保線改良事業、準用河川辻川改修事業</p>	2億3,015万円
<p>相良牧之原IC北側地域整備事業</p> <p>相良牧之原IC北側土地区画整理事業に伴う施行地区隣接部の市道整備を実施する。</p>	1,808万円
<p>緊急浚渫推進事業〈新規〉</p> <p>今後の気候変動に伴う豪雨の頻発化・激甚化を見据えると、河川の維持管理が重要であり、堆積土砂対策の計画的な実施により、流下断面を継続的に確保することで浸水被害の低減を図る。</p>	1,408万円
<p>細江地区浸水対策事業（準用河川沢垂川改修事業）</p> <p>準用河川沢垂川の整備計画及び河川改修を含めた総合的な治水対策を実施する。</p>	1億900万円
<p>榛原公園森林整備事業〈新規〉</p> <p>御前崎遠州灘県立自然公園に含まれる榛原公園において樹木の高木化が進んでいる。大雨や強風により倒木や法面崩落につながらないように森林環境譲与税を活用し、伐採等により森林環境の維持向上を図る。</p>	500万円

5【防災】

農村地域防災減災事業 市内 83 のため池のうち防災重点ため池の指定を受けた 63 池について、県と協力しながら大規模地震に備えた耐震化整備を進める。	6, 173 万円
津波高潮防災ステーション更新事業 津波防災ステーションが設置から 15 年以上経過し、機器類に異常が発生しているため、高機能な機器類に更新する。	1, 012 万円
地頭方漁港海岸防潮堤整備事業 レベル 1 津波から生命・財産等を守るため、地頭方漁港海岸の護岸・胸壁・陸間の海岸保全施設の整備を実施する。	1 億 5, 370 万円
プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業 市民の生命財産を守るため、昭和 56 年 5 月以前に建築された木造住宅の耐震化を促進するとともに、避難経路の寸断を防ぐため、倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去及び改善事業を推進する。	2, 325 万円
静岡地域消防救急広域化事業 島田市、吉田町、川根本町とともに静岡市に消防救急業務を委託し、消防力の強化を図る。	6 億 7, 906 万円
◎勝間田消防館建設事業 消防団組織再編計画により 5 分団（勝間田地区）の 3 か所の詰所を 2 か所に統廃合する。	50 万円
◎相良地区放射線防護施設整備事業 原子力災害時に避難準備が整うまでの間、P A Z 圏内の要配慮者等の被ばくのリスクを下げながら、安全に一時的な屋内退避を行うための放射線防護対策施設の整備を進める。	710 万円

6【市政経営】

議会 I C T 化推進事業 議会運営の効率化や議案審議資料の充実を図るとともに、ペーパーレス化による環境負荷の低減等を推進する。	302 万円
文書管理保管支援事業 公文書の管理保存のルールの見直しを行うと共に、既存書庫内文書の整理を行うことで、健全な公文書の管理保管体制の構築を図る。（債務負担 3 年目）	304 万円
地域振興基金積立事業 合併特例債を財源に 16 億円の地域振興基金を積み立てる。平成 29 年度から実施し、5 年目となる。	2 億円

<p>◎デジタル化推進事業</p> <p>人口減少や高齢者人口がピークを迎える 2040 年を見据え、本市においても持続性の維持、魅力の発信の強化を図ることを目的として、デジタル化の推進を図る。</p>	469万円
<p>◎若者に魅力あるサービス等創出支援事業</p> <p>若者の市外流出に歯止めをかけるため、若者が求める住環境、ライフスタイルを提供するための新産業、新サービスの創出に官民連携で取り組むことで、第2次総合計画後期基本計画「戦略プロジェクト」の強力な推進を図る。</p>	500万円
<p>公共交通推進事業</p> <p>市民の生活交通を確保するため、JR 駅を結ぶ路線バスや自主運行バスや市内の移動のためのデマンド乗合タクシー、バスを運行する。</p>	1億7,180万円
<p>◎移住・定住促進補助事業</p> <p>移住・定住を促進するため、市への居住の節目に条件を満たした場合に補助金等を交付する。(子育て家族定住奨励金、空き家リフォーム等補助金、結婚新生活支援助成金、しあわせ新婚さん家賃助成金、移住就業支援補助金)</p>	5,824万円
<p>◎ホストタウン推進事業</p> <p>全国初のホストタウン登録を受けたサーフィン競技を核とした交流事業を推進することにより、地域の人的・経済的・文化交流を図ることで、オリンピックをきっかけとした沿岸部の賑わいを創出する。</p>	1,084万円
<p>◎東京 2020 オリンピック聖火リレー事業</p> <p>聖火リレーの開催市として、円滑な事業運営を行い、市民の一生の思い出となるようなイベントとする。</p>	823万円
<p>アウトソーシング事業（窓口業務・税証明等）</p> <p>市民課における住民票の写し・印鑑登録証明・税証明等の窓口交付・原付等の標識交付、軽自動車税及び償却資産課税情報の入力事務をアウトソーシングし、ワンストップサービスの拡充を図る。</p>	4,400万円
<p>スマホ決済の導入〈新規〉</p> <p>証明書発行手数料、市税、フッ素塗布自己負担金や物産センター売上収入をスマートフォンのオンライン上で決済する「Pay Pay」「Line Pay」を使った決済サービスを実施する。</p>	9万円
<p>◎火葬場整備検討事業〈新規〉</p> <p>牧御、吉牧の各組合で運営している火葬場施設の老朽化及び1市2制度解消のため、新火葬場施設の整備候補地の選定調査等を実施する。</p>	361万円
<p>◎相良公民館解体事業</p> <p>公共施設マネジメント計画に基づき、現在使用を停止している相良公民館の解体工事を実施する。</p>	1億4,095万円

<p>◎海浜体育館解体事業〈新規〉</p> <p>公共施設マネジメント計画に基づき、現在使用を停止している海浜体育館の解体に向けた設計を実施する。</p>	305万円
--	-------

【参考】令和2年度からの繰越事業

<p>●庁舎施設感染症対策事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として庁舎トイレに衝立を設置する。</p>	197万円
<p>●人口移動状況調査事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として人口移動状況調査を非接触で実施するためのシステムを構築する。</p>	50万円
<p>●窓口感染対策事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として非接触で決済するためのセルフ型レジスターを導入する。</p>	418万円
<p>●子育て支援連携システム改修事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としてまきはぐメールによる情報の迅速な配信と、まきはぐサイトの閲覧をスマホ対応版にするシステム改修を行う。</p>	712万円
<p>●子育て応援特別給付金事業</p> <p>コロナ禍における経済的負担の軽減を図るため、1児につき10万円を支給する。</p>	2,100万円
<p>●商工業支援事業</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた地域経済の活性化を図るため、緊急経済対策（飲食・宿泊事業者感染予防対策奨励金、中小企業者応援給付金、飲食店支援LINEクーポン配信・プレミアム商品券発行）に加え、テイクアウト販売支援、地域応援プレミアム商品券の発行を実施する。</p>	1億3,210万円
<p>●小学校空調設備整備事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として市内小学校の特別教室（理科室）へ業務用空調機器を整備する。</p>	2,435万円
<p>農村地域防災減災事業</p> <p>国の補正予算により前倒しで予算付けとなった牧之原8期地区の農業用ため池の土質調査及び耐震診断を実施する。</p>	5,500万円
<p>◎相良地区放射線防護施設整備事業</p> <p>国の補正予算により前倒しで予算付けとなった放射線防護施設の建築及び牧之原消防署の商用電源接続工事を実施する。</p>	7億1,110万円